

各委員の大正区のイメージと提言

番号	委員	該当ページ 項目名	区政会議委員意見	担当課
1	山崎委員	こどもの未来が輝くまち「大正」	大正区でフリースクール等の自立支援の施設やこどもの居場所が少ないように感じます。不登校の定義のラインもあいまいで、今のままでは「一部のこども」の未来しか輝きません。もっとこどもたちに選択肢を！	保健福祉課 (こども・教育)
2	山崎委員	こどもの未来が輝くまち「大正」	フリースクールの増設 各地域に1施設のフリースクールを増設で校区外をなくす取り組みを。	保健福祉課 (こども・教育)
3	山崎委員	こどもの未来が輝くまち「大正」	小学校の統一と校区の見直し。 児童が減ってきている中、見直しが必要なのではないか？ このままでは単学級でクラス人数が1桁になる可能性が高いのでは。	保健福祉課 (こども・教育)
4	山崎委員	にぎわいと魅力あふれるまち「大正」	小林西や三軒家西の臨港地区でのイベント開催。 暗い、怖い、汚いイメージがついてるため若年層が近寄りがたい雰囲気を変えてほしい。	地域協働課 (地域協働)
5	北方委員	にぎわいと魅力あふれるまち「大正」	大正区花はつつじと聞いていますが、近年、気になっていたのですが、バス通りに植えられているつつじが綺麗に咲き誇っているのをあまり見ることはありません。「ものづくりのまち」として大正区には他区からバスに乗って通勤している人たちが多くいると思います。区の表通りであるバスから見る景観は非常に大切だと思います。「整備された綺麗な街」という興味や関心を持つ事は人を惹きつけ住みたくなるきっかけになると思われます。通りの雑草への関わりも同じことが言えると思います。そこで私は草木に関わることが好きな人が多いと思われる高齢者の力に目をつけたいと思いました。人を惹きつける綺麗なまちづくりを埋もれた原動力、高齢者に委ねるのも策だと考えます。	総務課 (庶務)

番号	委員	該当ページ 項目名	区政会議委員意見	担当課
6	北方委員	こどもの未来が輝くまち「大正」	大正区版ネウボラについて、公的アドバイスばかりでなく、区民レベルのアドバイスという視点を持った場を持つことも良いのではないのでしょうか。子育てが終わった人、若しくは高齢者のように子育ての苦労を経験した人たちが活かされる舞台だと思います。 岸田首相が提起した政策の中に親が働いていなくても保育所に預けられる制度、一見有り難いことのように聞こえますが、現場の視点ではどうでしょう？保育士の増加もなく、関わらなければいけないこどもが増えるということは、保育士の負担は相当なものであり、事故へと繋がる可能性が増えると思われます。 通学路でのこども見守り隊があるように、保育所に見守り隊があっても良いのではないのでしょうか？見守る目が多ければ事故も予防でき、専門的で重要なところは保育士さんが担うことで、こどもに高齢者と関わる機会を与え、親以外の大人へ、そして高齢者への敬意が自然に育つ場となり、関わる大人にとっては大正区の子を慈しむ機会を持つことができる場となりうると考えます。また、親御さんたちにも人生の先輩・子育てで苦労した先輩として何らかのアドバイスがもらえる機会を持てる可能性の場の提供になっていくのではないかと思います。 お年寄りには人の役に立ちたい、という願望を持っています、もちろんお年寄りだけではないと思いますが。人の善意を引き出せられる舞台の提供は、大正区の個性である高齢者が多いという問題意識を払しょくしていくには重要なことだと思います。 しかし、高齢者 イコール ボランティアという発想は変えていく方が良いと思われます。対価を提供し人の役に立ちながら金銭的欲求をくすぐり、モチベーションをあげていくことを考えてください。高齢者に自分の健康にだけ目を向ける生き方を勧めず、人の役に立ちながら自ずと健康になっていく策を考えることで、老いも若きも活かされる魅力ある大正区に繋がればと思います。 良いシニア、元気なシニアがいることは区にとって財産であり、活気をもたらししていくと思われます。そして、こどもや子育て世代との関係性の変容、顔見知りができることで高齢者も子育て世代も孤独にならない大正区を作るきっかけになり、地域で助け合って生きるエネルギーともなりうると考えます。そして、これは支援が必要なこどもや子育て世代の複合的な問題の発見にも繋がるのではないかと思います。	保健福祉課 (こども・教育) 保健福祉課 (福祉・介護)
7	北方委員	4つの柱を支える 共通の取組	区役所の玄関前の掲示板についてですが、十分に活かされていないように感じました。SNS・LINE・Facebook・Instagram等、確かに今の世の中、情報をキャッチし活かしていくにはこれらは大切と思われますが、一人住まいの高齢者が多い大正区において、広報紙で情報を得る人が多いと聞いています。紙媒体や掲示板のようにアナログ伝達も大切なことだと思います。ICTリテラシーなど能力の向上は必須と思われますが、区役所に行けば分かるという役所への信頼感、そんな区民との距離が近い、顔の見える関係性を作ることは、高齢者だけでなくすべての区民に通じると考えられます。このような関係性ができることで区への関心も高まり、地域への積極的な関わりを持とうと意識も高まるのではないかと思います。 魅力ある大正区への道は役所が頑張るには限度があると思われます。区民をどのように巻き込んでいき、自分たちの大事な生活の場として関わりたくるよう模索していくことだと思います。	総務課 (庶務)

番号	委員	該当ページ 項目名	区政会議委員意見	担当課
8	姉川委員	健康で安心して暮らせるまち「大正」 4つの柱を支える 共通の取組	(つながりの希薄化、地域活動の形骸化) 安心な街をめざすためには、4つの柱の1にある「互いにつながり支えあう」という文言にもあるように、人と人や、人とモノ・情報などつながりあうことはとても大事だと思います。 しかしこのつながりづくりが近年つながること自体が難しく、その代わりつながりのきっかけづくりや、ゆるやかなつながりづくりを作る、ということが重要視されていると感じます。 人口減や独居率の増加も考えると、無理につながりを作るのではなく、ゆるやかなつながり(例えばリアルで合わなくてもSNS上などのネットでつながる、一人でもいい誰も喋らなくてもいい居場所をつくるなど)そういった方向ももっと考えていってもいいのかなと思いました。 また、「ゆるやかなつながり」という定義自体も曖昧で私自身良くわかっておりません。ですので、例えば区職員や場づくりの世話役さんなどでそういった勉強会をするなど、そういったものも今後考えていいのではと思います。	保健福祉課 (福祉・介護) 地域協働課 (地域協働)
9	土井委員	こどもの未来が輝くまち「大正」	【イメージ】 教育環境を理由に大正区への移住を敬遠する、又は区外の学校に子どもを通わせる傾向が強い。とはいえ、子どもは素直で元気な子が多い。 【提言】 学校案内の中に市内の各校の学力や運動能力を数値化しているが、その数値の目標設定と達成に向けての施策の有効性の検証。  《大正区学校案内》	保健福祉課 (子ども・教育)
10	土井委員	にぎわいと魅力あふれるまち「大正」	【イメージ】 ものづくりのまち大正を体現すべく、色々な事業を行ってくれている。 【提言】 区内で働く人だけでなく、住む人にとっても誇れる「ものづくりのまち」。工場と住人の接点、周知。	地域協働課 (地域協働)
11	土井委員	4つの柱を支える 共通の取組	【イメージ】 まちの活動の主体が高齢化の一途 【提言】 各地域の連携。若手世代の参画しやすいまちづくりの仕組みの擦り合わせ。	地域協働課 (地域協働)